

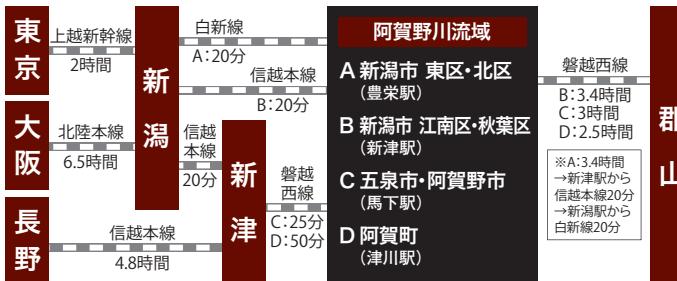
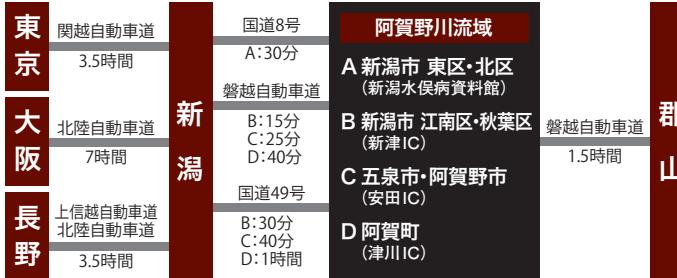
# 光と影に向き合う環境学習

はじまる。

## あがのがわ 環境学習ツアーア

あがのがわ  
環境学習  
ツアーア

あがのがわ 環境学習ツアーア



阿賀へ。

Agano-River  
阿賀野川

Niigata-City  
新潟市

Agano-City  
阿賀野市

Aga-Town  
阿賀町

Kooriyama  
郡山

Gosen-City  
五泉市

Nagaoka  
長岡

Jouetsu  
上越

Nagano  
長野

至 大阪

上  
信  
越  
道

上  
越  
新  
幹  
線

関  
越  
道

東  
北  
道



一般社団法人  
あがのがわ 環境学舎

あがのがわ環境

〒959-2221 新潟県阿賀野市保田 3866 番地 1 TEL&FAX 0250-68-5424

E-mail : aganogawa@niigata.email.ne.jp URL : http://aganogawa.or.jp

東京  
Tokyo



阿賀野川 最後の帆船(昭和25年・五泉篠塚)撮影木村清氏・提供木村仁巳氏



これからの未来に生かせる教訓とは?

新潟水俣病問題が今も続く阿賀野川流域で取り組まれる、公害に向き合い乗り越えるための地域再生。そこから学んだ「人と人の絆」「人と自然の関係」を紡ぎ直す知恵を、様々な“ほんもの体験”を通してお伝えします。

大学のゼミ合宿、小・中・高の修学旅行、団体の視察研修…などにご活用ください。

あがのがわ  
環境学習  
ツアーア



阿賀野川 ここだプロジェクト

# 阿賀野川流域が かつて体験してきた 光と影の歴史から

かつて阿賀野川では帆かけ舟が多数往来し、大河の恵みを享受した地場産業や大企業が栄え、潤いのある暮らしが営まれていました。

そんな流域社会も、昭和の高度経済成長を迎えて繁栄を続けた後、新潟水俣病が表面化した昭和40年代を境に、時代の曲がり角を迎えました。失われゆく原風景、徐々に疲弊する地域、長引く新潟水俣病問題…。

やがて、新潟水俣病の公式確認から40年以上経過した平成19年、まずは流域が公害と向き合うきっかけを生み出すために、新潟県が主導して**阿賀野川流域の地域再生が本格的に動き出しました。**

その動きは民間に受け継がれ、一般社団法人あがのがわ環境学舎が誕生。今では、流域の観光・地場産業、環境NPO、まちづくり団体などを巻き込み、「阿賀野川エコミュージアム構想」を掲げて公害の経験を乗り越えつつあります。

## ■ 流域再生の始まりとこれから



H19 ~

H23 ~

これから



これからの未来に  
生かせる教訓を  
お伝えするために

そして、光と影の歴史に向き合い流域再生に取り組む中から、  
「人と人の絆」「人と自然の関係」を紡ぎ直す知恵を学んだ私たちは、  
そんな自慢すべき「阿賀の宝もん」を全国の方々にもお伝えしたいと考え、  
「あがのがわ環境学習ツアー」を始めました。